

12月定例会 賛否の分かれた議案

(意見書第4号)

県民・町民の安心・安全な飲み水及び地下水、井戸水の確保に関する対策費の支援等を求める意見書

反対討論の主旨

(喜納昌盛 議員)

P F O S問題に関して、本来は反対・賛成云々ではない。今回のこの提案された経過があまりにも性急すぎる。P F O S問題については陳情があったが、これは宜野湾市関係のもので、これは議運でも配布ということで決まっていた。

もちろん本町においても工業団地関係のP F O S問題がある。

これは我々同僚議員も何度か一般質問しているなかで町の対応、県の対応いろいろやり取りはしているがこの原因究明がまだなされていない。我々議員としてもまだ深く実は研究してない。

我々が精査もしない中でこの決議を出すのではなく互いに勉強も重ねながら、西原町のP F O S問題どうするかということ全員一致でできるような要請文決議文をやってほしかった。そういう要望はしてきた。実は私も調査不足。よって今回は撤回してほしい。あえて出すのであれば、中身が不十分ということでこれを反対せざるを得ない。

(儀間駿太郎 議員)

この問題に関しては私も取り組んでいけないといけない、問題意識は同じ。ただ、内容に関して今現状、西原町、県や国がどのような対策を行っているのかということところが内容に盛り込まれていない。そういったことをより具体的にしてどのような支援・費用を求めるか、我々がもっと議論して中身を考えていくべきだと思う。また今議会で提出することがすべてではなく、今後この問題に取り組む中で行政側、議員それぞれと連携して、西原町で起きている課題、沖縄県で起きている課題を共通認識した上で取り組むことが大事だと思う。今、議員間で様々な意見がある以上この内容の意見書を賛成して上げることは、あまりよろしくないのかなというふうに思う。

今回はこの意見書に対しては反対するが、しっかり今後もこの町民、県民の安心安全を求めた上で議会一丸となって素晴らしい形の意見書を国や県に提出できるような取組みをやっていくべきだと思う。

(伊計裕子 議員)

全員協議会の中でこの意見書の内容が事実と違うところもあるのではないかといろいろ意見があった。

やはり私たちが正確な情報・知識をもって、全員一致のうえで、P F O S問題、水の問題に取り組む。町議会としての意見書なので皆が納得できる意見書でなければならない。

県や町もどこまでやっているか、何が課題になのかを自分たちで調査をして皆で意見書を上げていきたいと思う。

賛成討論の主旨

(仲松 勤 議員)

西原町においてもこのP F O S問題、地下水問題、河川の汚濁問題が住民の間で西原一つの課題となったのが令和3年頃。P F O Sの調査を行ったところ、国の暫定基準を超した地点があったということが発覚した。その後、令和6年度の調査報告、令和7年度1月に実施したその結果報告、県の方で問題となっている北谷浄水場の問題も踏まえ、県と町が連携した周知、発生源の特定、継続的なモニタリングが求められているのではないかと。また、将来的な財政負担の懸念もある。県民・町民の安全と安心を守るため、本意見書に賛成する。

(前里光信 議員)

近年、県および県議会においてもPFAS・PFOS問題は沖縄全体に関わる重要課題として位置づけられ、国への意見書提出が進められている。西原町においても、調査結果から飲料水や生活への影響が懸念される状況があり、国・県と連携した対応が不可欠である。本意見書をこの時期に提出することは、極めて適切かつ重要であると考え、賛成する。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19
	大城 誠一	真栄城 哲	与儀 清	大田 實	山城 勝貴	儀間駿太郎	伊集 悟	長濱ひろみ	伊計 裕子	喜納 昌盛	新田 宗信	與那嶺良樹	新川 喜男	比嘉 利和	屋比久 満	大城 好弘	仲松 勤	前里 光信	大城 純孝
意見書第4号	×	×	×	欠	×	×	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×	○	○	議長

※賛成は○ 反対は× 欠席は欠